

2020年度あいち・ウーマノミクス研究会 女性雇用促進グループ会議
女性活躍促進に向けた各社の取組について

会社名	矢作建設工業株式会社		
従業員数(うち女性の数)	861人(81人) ※ 2020年10月時点		
女性従業員数の推移(直近3年間の推移)	65人 (2018年10月)	76人 (2019年10月)	81人 (2020年10月)

1 女性活躍推進法に基づく取組等について

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の計画期間	2019年4月1日～2022年3月31日	
女性の活躍促進に向けた目標(上記の目標)・現状値	目標 ・採用者に占める女性比率を10%以上にする ・女性職員の活躍を促す環境を整備する	現状値 ・採用者に占める女性比率 15.8%(2018年4月) 26.7%(2019年4月) ※外国人材含む 14.0%(2020年4月) ※外国人材含む
女性の活躍促進に向けた取組(上記の目標に向けた現在の取組)	・女性学生を対象としたイベントへの出展やインターンシップを開催し、業界、当社をPR。 ・先輩女性社員に講師やリクレーターを依頼し、女性採用を強化。 ・2019年4月より育児介護のための時差出勤制度や、半日有給休暇取得制度、勤務間インターバル制度を導入。 ・女性技術者と人事部との意見交換会を定期的に開催し、就業環境の改善に向けた意見を聴取、改善を推進。	
取組の効果	・新卒採用に占める女性比率が安定的に10%を超え、女性社員の現業部門(施工、営業)への配属を増やしてきた。結果、就業環境の整備など、働き方改革の推進にも良い影響を与えている。 ・時差出勤制度を導入したことにより、地域や家庭の環境に応じた勤務を選択できるようになり、活躍の幅を広げることが出来た。	

2 新たな取組や力を入れている取組、PR事項等について

2020年度に新たに実施した取組や力を入れている取組、PR事項等	・女性技術者の活躍をPRする現場見学会や女性座談会を主にした採用イベントを開催(オンライン)
----------------------------------	--

3 コロナ禍を受けて取り組んだ(強化した)取組やPR事項、取組によって見えた課題等について

コロナを受けて取り組んだ(強化した)取組やPR事項、課題等	従来なかった在宅勤務をコロナ禍により強制的に実施。段階的に在宅勤務のインフラ等を整備し、コロナの状況に応じて在宅勤務を実施してきた結果、働き方に対する経営者、社員の考え方が変化。課題は多いものの、今後は生産性や成果を向上させるために、アフターコロナにおいても在宅勤務を導入するなど、働き方改革を推進していく契機としたい。
-------------------------------	--

※2,3に関する力を入れている取組やPRしたい事項が分かる資料(A4サイズ・1枚程度)をご提出ください。本紙及び提出いただいた資料は、県ホームページにて公表いたします。